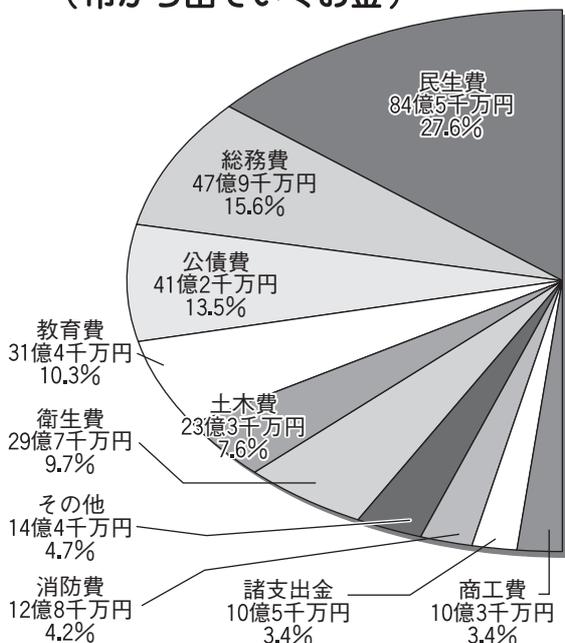


平成18年度市の財政状況をお知らせします

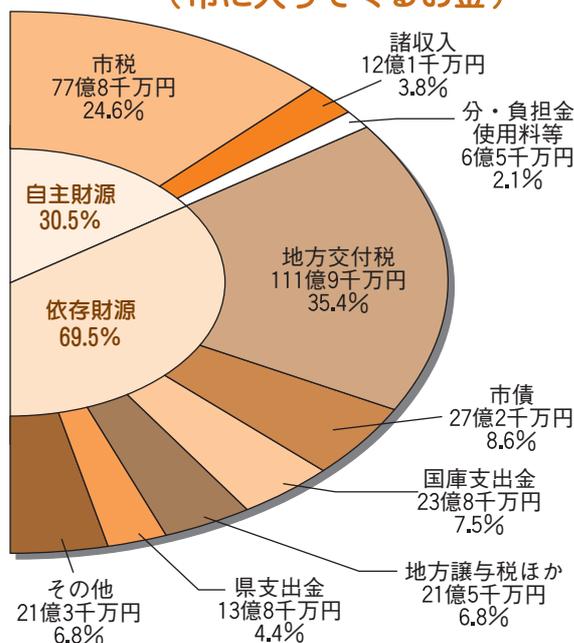
問 財政課 ☎ 49-13111
(内線349)

一般会計決算の内訳

歳出 306億円
(市から出ていくお金)



歳入 315億9千万円
(市に入ってくるお金)



市民1人当たりの歳出は
368,156円
(平成19年3月31日現在の人口83,118人)

- 内訳**
- 民生費 101,671円**
高齢者や障害者、児童の福祉などに使われました
 - 総務費 57,643円**
財産管理や選挙、電算運用費などに使われました
 - 公債費 49,612円**
市債(借金)の返済に使われました
 - 教育費 37,776円**
小中学校、公民館、体育施設等の運営費に使われました
 - 土木費 28,045円**
道路の建設や維持、公園の管理などに使われました
 - 衛生費ほか 93,409円**
検診やごみ処理、病院への繰出、農業、消防、商工費などに使われました

歳出の内訳を見ると、民生費の割合が27・6%と全体の1/3以上を占め、最も高くなっています。これは子育てや老人、障害者自立支援などの福祉事業に力を入れたためです。

歳出では民生費の割合が最も高い
歳入の内訳を見ると、市税の割合が24・6%なのに対し、地方交付税の割合は35・4%と全体の1/3以上を占め、大きく依存しているのが分かります。
歳入では地方交付税が全体の1/3以上
歳入の内訳を見ると、市税の割合が24・6%なのに対し、地方交付税の割合は35・4%と全体の1/3以上を占め、大きく依存しているのが分かります。

平成18年度の決算がこのほどまとまりました。決算は、1年間にどのようなお金が入ってきたか、どのようなことに使ったかをお知らせするものです。
一般会計、特別会計、企業会計を合計した市全体の決算額を見ると、おおよそ一般会計の決算額の2倍程度となっていますが、これは、他の市でも同じ傾向にあります。

会計別決算総括表

区分	歳入	歳出	差引
一般会計	315億8,908万円	306億46万円	9億8,862万円
特別会計 (18会計)	252億3,626万円	245億8,261万円	6億5,365万円
企業会計 (4会計)	109億8,720万円	122億7,084万円	△12億8,364万円
計	678億1,254万円	674億5,391万円	3億5,863万円

市債残高

	H17	H18	増減
一般会計	369億5,562万円	362億9,686万円	△6億5,876万円
特別会計	86億3,937万円	87億3,855万円	9,918万円
企業会計	280億7,949万円	312億8,015万円	32億66万円
計	736億7,448万円	763億1,556万円	26億4,108万円

市税の内訳(77億8千万円)

